

令和 8 年 1 月 13 日
瑞穂区地域環境審議会

瑞穂公園陸上競技場周辺における 環境対策について

名古屋市総務局
アジア・アジアパラ競技大会推進部
アジア・アジアパラ競技大会推進課

1 大会概要

【第20回アジア競技大会】

◆開催期間

2026年9月19日（土）～10月4日（日）

◆実施競技

41競技

◆参加者数

選手・チーム役員 最大15,000人

◆メイン会場

名古屋市瑞穂公園陸上競技場

【第5回アジアパラ競技大会】

◆開催期間

2026年10月18日（日）～10月24日（土）

◆実施競技

18競技

◆参加者数

選手・チーム役員 3,600～4,000人

◆メイン会場

名古屋市瑞穂公園陸上競技場

【瑞穂公園各競技会場で開催される競技】

競技会場	競技	
	アジア	アジアパラ
陸上競技場	陸上 マラソン	パラ陸上
ラグビー場	サッカー ラグビー	
体育館	セパタクロー	パラテコンドー

2 組織委員会と開催都市の役割分担

◆組織委員会

競技会場内における環境対策及び競技会場内で発生した廃棄物の処理

◆開催都市

競技会場外における環境対策及び競技会場外で発生した廃棄物の処理

3 愛知・名古屋2026大会におけるSDGs推進方針

組織委員会において策定、公表済み。

大会関係者及び参加者が3つのR（リデュース、リユース、リサイクル）+リニューアブル（再生可能資源への代替）に積極的に取り組み、次世代への「地球規模課題への意識」をレガシーとして承継できるようにすることを掲げている。

4 廃棄物の低減策

- 大会後の活用も見据えた移動式宿泊施設の利用やリース材・備品の調達
- メインメディアセンターにおける間伐材を活用した什器の設置
- 給水機の設置等によるマイボトルの利用促進や環境に配慮した食器等の使用
- 入賞メダル製造におけるリサイクル金属の活用
- 競技会場内における分別用ゴミ箱の設置

5 競技会場外（ラストマイル※）でのポイ捨て対策

※ラストマイル・・・

観客の利用が想定される駅から競技会場の入場ゲート付近までの推奨ルートのこと

- ・観客の往来に伴ってラストマイル上にゴミが捨てられる可能性あり

《対応策》

- 観客には、ホームページ等を通じて来場時マナーを周知。
- 競技が終了し、観客の退場がおおむね完了した時点で、スタッフ等によるラストマイル上のゴミ拾いを実施予定。